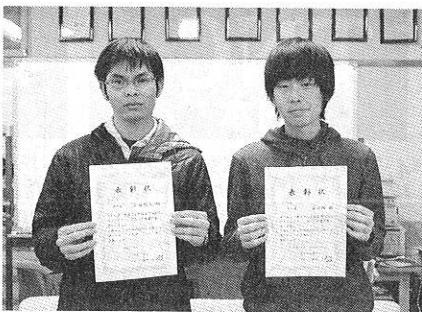


平成26年（2014年）12月22日（月曜日）(9)



山田さん、谷口さんが入賞

有明高専から4年連続 試作の部では初の快挙

演算増幅器設計コンテスト

高専でも初めて。

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校（福島健郎校長）電気工学科四年の山田教太さん（18）＝大牟田市浄真町＝と電子情報工学科四年の谷口幹（もとき）さん（19）＝玉名郡長洲町腹赤＝は平成二十六年度演算増幅器設計コンテスト試作の部に初挑戦し、入賞を果たした。【写真】

同コンテストは応用科学学会主催。アナログ集積回路設計者の登竜門的存在で、シミュレーションの部と試作の部があり、全国の高専・大学・大学院生が設計スキルを競う。五日、東京工業大学大岡山キャンパスで表彰式が行われた。山田さんは試作の部敵闘賞、谷口さんは同部努力賞を受賞した。入賞者のほとんどは研究が進んでいる大学・大学院の学生で、今有明高専生のみ。五回目四年連続の快挙となつたが、試作の部での入賞は全国の

トしたので、設計に関する基礎知識を身に付ける段階は大変でしたが、設計していく中できれいに回路が作られるなど、うれしかったです」と谷口さん。山田さんは「非常に時間がかかり、ゴールデンウイークも一日も休めませんでした。一番忙しい時期は部活にも出られなかった」と苦労を振り返る。も「非常に時間がかかり、ゴールデンウイークも一日も休めませんでした。一番忙しい時期は部活にも出られなかった」と苦労を振り返る。

入賞という結果を受け、「全然予想していなくてびっくり。うれしかったです」と一人。「せつかく入賞できたので、これからも勉強を続けて、次回はもっと上の賞を目指したい」と意気込みを新たにしていた。

（河野 美緒）